

監視フォルダ型CAD-PDF自動変換システム

# CALS-PDFserver

Ver.1.3

リリースノート

# ご使用にあたって

## 著作権について

●本書とソフトウェア及びそれらに記載されている内容は、著作権法によって保護されています。本書の内容の一部、または全部を株式会社マイクロアーツの書面による許可なく、複製、送信、情報検索のために保存すること、日本語以外の言語に翻訳することを禁じます。

●Microsoft、Windows、Windows NT、Ms Office は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

●Adobe、Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標です。

●AutoCAD、AutoCAD LT は、米国 Autodesk, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

●一太郎は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

●Server Based Converter は、株式会社アンテナハウスの登録商標です。

●その他の会社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

## 製品の保証について

●ユーザが、本ソフトウェア及びマニュアルを使用することによって生じた、または使用できないことによって生じた全ての損害について、株式会社マイクロアーツ、またはその代理人が有形または無形の責任を負うことは一切ありません。

## 一般的な注意事項

●本書で使用している図版は、標準的な設定時の例を使用していますので、実際に「CALS-PDFserver」を運用しているときの画面とは、必ずしも一致しない場合があります。

●本書及びソフトウェアに記載されている事項は、将来改良等のため、予告なく変更される事があります。

— 目次 —

1. 機能追加・改善 .....	1
2. 不具合修正 .....	3
3. 制限事項解除.....	4
4. 制限事項.....	5
付録 リビジョンアップ履歴.....	8
改訂履歴.....	12

# 1. 機能追加・改善

---

- 1.1. [全エンジン共通] 変換順序を厳密にチェックする様に改善。  
I Nフォルダに投入されたファイルの変換順序を、I Nフォルダに投入された順番で厳密にチェックする様に改善しました。
- 1.2. [AutoCAD エンジン] AutoCAD 2009 及び AutoCAD LT2009 に対応。  
AutoCAD エンジンの対応ファイル形式が、AutoCAD R2.5 ~ AutoCAD 2009 及び AutoCAD LT95 ~ AutoCAD LT2009 で作成された DWG/DXF 形式のファイルとなりました。  
ただし、AutoCAD2008 で作成された異種尺度オブジェクト及びレイアウト別レイヤには未対応です。
- 1.3. [AutoCAD エンジン] マルチテキストの文字間隔に対応。  
マルチテキストの書式中で指定する文字間隔に対応しました。
- 1.4. [AutoCAD エンジン] 「ペーパー空間を最後に印刷」に対応。  
ページ設定の「ペーパー空間を最後に印刷」切替に対応しました。  
これまでは「ペーパー空間を最後に印刷」をオフにしてもペーパー空間に直接描いた図形がビューポートの前面に出力されていましたが、背面に出力する事が可能となりました。
- 1.5. [AutoCAD エンジン] レイアウト毎の用紙サイズを統一する際の例外設定を新設。  
レイアウト毎の用紙サイズを統一する際に、ある用紙サイズ以下又は以上は統一しないといった例外を設定する機能を追加しました。  
※ 本対応に伴い設定ファイルの一般設定 ([Environment]) カテゴリに「統一用紙区分」 (UnitePaperMode) 項目を追加しました。  
“全て統一” (0) を指定した場合、「統一用紙サイズ」 (UnitePaperSize) 項目で指定された用紙サイズに全て統一します。  
“小さいサイズは統一しない” (1) を指定した場合、「統一用紙サイズ」 (UnitePaperSize) 項目で指定された用紙サイズより小さい用紙サイズは統一しません。それ以外は「統一用紙サイズ」 (UnitePaperSize) 項目で指定された用紙サイズに統一します。  
“大きいサイズは統一しない” (2) を指定した場合、「統一用紙サイズ」 (UnitePaperSize) 項目で指定された用紙サイズより大きい用紙サイズは統一しません。それ以外は「統一用紙サイズ」 (UnitePaperSize) 項目で指定された用紙サイズに統一します。  
既定値は”全て統一” (0) です。
- 1.6. [AutoCAD エンジン] CTB/STB ファイルを適用する際の例外設定を新設。  
設定ファイル内でレイアウト単位に指定可能な CTB/STB ファイルを、適用するルールを追加しました。  
※ 本対応に伴い設定ファイルのモデル空間設定 ([Environment]) 及びペーパー空間設定 ([Layout#]) カテゴリに「CTB/STB ファイル適用区分」 (ReplacePlotStyle) 項目を追加しました。  
“CAD に従う” (0) を指定した場合、「CTB/STB ファイル名」 (PlotStyleFile) 項目で指定された CTB/STB ファイルは無効となります。

“CAD で未指定の場合のみ” (1)を指定した場合、CAD 内の印刷設定が無効または CAD 内の印刷設定にて印刷スタイルを使用しない設定となっている場合のみ、「CTB/STB ファイル名」(PlotStyleFile)項目で指定された CTB/STB ファイルを適用します。

“CAD 指定ファイルが存在しない場合のみ” (2)を指定した場合、CAD 内の印刷設定にて印刷スタイルを使用する設定で且つ、CTB/STB ファイルが存在しない場合のみ、「CTB/STB ファイル名」(PlotStyleFile)項目で指定された CTB/STB ファイルを適用します。

“CAD で未指定または CAD 指定ファイルが存在しない場合” (3)を指定した場合、上記の(1)又は(2)の条件を満たす場合に、「CTB/STB ファイル名」(PlotStyleFile)項目で指定された CTB/STB ファイルを適用します。

“CAD 指定ファイルが存在する場合のみ” (4)を指定した場合、CAD 内の印刷設定にて印刷スタイルを使用する設定で且つ、CTB/STB ファイルが存在する場合のみ、「CTB/STB ファイル名」(PlotStyleFile)項目で指定された CTB/STB ファイルを適用します。強制的に印刷スタイルを変更したい場合に使用します。

“CAD で未指定または CAD 指定ファイルが存在する場合” (5)を指定した場合、上記の(1)又は(4)の条件を満たす場合に、「CTB/STB ファイル名」(PlotStyleFile)項目で指定された CTB/STB ファイルを適用します。

“CAD で指定されている場合のみ” (6)を指定した場合、CAD 内の印刷設定にて印刷スタイルを使用する設定の場合のみ、CTB/STB ファイルの存在に関係無く「CTB/STB ファイル名」(PlotStyleFile)項目で指定された CTB/STB ファイルを適用します。

“無条件” (7)を指定した場合、無条件で「CTB/STB ファイル名」(PlotStyleFile)項目で指定された CTB/STB ファイルを適用します。

既定値は”無条件” (7)です。

#### 1.7. [SXF エンジン] 拡大／縮小率の線幅・線種ピッチ適用に対応。

用紙サイズを拡大／縮小する際に、スケールを線幅及び線種ピッチに適用するか否かの設定を追加しました。

※ 本対応に伴い設定ファイルの一般設定([Environment])カテゴリに「拡大／縮小率の線幅・線種ピッチ適用有無」(LWScale)項目を追加しました。

“適用しない” (0)を指定した場合、拡大／縮小率は適用しません。

“適用する” (1)を指定した場合、拡大／縮小率を適用します。

既定値は”適用する” (1)です。

## 2. 不具合修正

---

- 2.1. [全エンジン共通] 本サービスの連続稼働により、システムリソースを消費し、枯渇状態になる不具合に対応。
- 2.2. [AutoCAD エンジン] ワイプアウト要素のフレーム表示属性が正しく適用されない不具合に対応。
- 2.3. [AutoCAD エンジン] モノクロラスタデータを貼り付けた図面で、イメージ色区分を”白黒”とした際、稀にラスタがカラー出力される場合がある不具合に対応。
- 2.4. [AutoCAD エンジン] ラスタデータを大量に貼り付けた図面で、変換エラーとなる場合がある不具合に対応。
- 2.5. [AutoCAD エンジン] 線幅を0ミリとした場合に、最小線幅ではなく、オブジェクトの線幅に従うようになっていた不具合に対応。
- 2.6. [AutoCAD エンジン] 設定ファイルのエラー処理設定([Error])カテゴリの「ハッチング優先展開処理使用有無」(HatchExplode)項目にて”使用する”(1)とした場合に、ハッチングの塗り潰しが稀に異なる色となる場合がある不具合に対応。
- 2.7. [AutoCAD エンジン] ミラーリングした縦書き文字が稀に正しく変換されない場合がある不具合に対応。
- 2.8. [AutoCAD エンジン] 多数のビューポートを使用した図面で、変換時間が異常に遅い場合がある不具合に対応。
- 2.9. [AutoCAD エンジン] ワイプアウトを組み合わせたブロック属性定義文字が出力されない不具合に対応。
- 2.10. [SXF エンジン] 大量のハッチングが存在する場合に変換エラーとなる場合がある不具合に対応。

## 3. 制限事項解除

---

- 3.1. [AutoCAD エンジン] リージョン要素に対応。
- 3.2. [AutoCAD エンジン] 3Dソリッド要素に対応。
- 3.3. [AutoCAD エンジン] ボディ要素に対応。
- 3.4. [AutoCAD エンジン] プロキシ要素に対応。
- 3.5. [AutoCAD エンジン] 円弧に沿った文字に対応。

## 4. 制限事項

---

本リビジョンにおける制限事項は以下の通りです。

### 4.1. AutoCAD エンジン対応データ形式

本リビジョンでは AutoCAD の以下の形式に対応しています。

AutoCAD R2.5 ~ AutoCAD 2009 及び AutoCAD LT95 ~ AutoCAD LT2009 で作成された DWG/DXF 形式のファイル。

AutoCAD R14 以前及び AutoCAD LT98 以前のデータの場合に、まれに変換できない場合があります。

### 4.2. AutoCAD エンジン未対応要素

本リビジョンでは AutoCAD の以下の要素には対応していません。

- Express Tools で作成された図形

未対応要素を検知した場合、警告ログを出力し、警告付き終了コードで終了します。

### 4.3. AutoCAD エンジン仕様補足

- シェイプフォントは付属していません。
- 3次元視点には未対応です。
- AutoCAD2008 で作成された異種尺度オブジェクト及びレイアウト別レイヤには未対応です。
- ブロック図形のネストは最大 100 個です。
- 外部参照ファイルの階層は最大 10 段です。
- 出力用紙の最大は縦横 5m です。
- TrueType フォントの埋め込みには対応していません。

### 4.4. AutoCAD エンジン変換 PDF と AutoCAD 表示との相違点

本リビジョンで変換した PDF は AutoCAD 表示と以下の相違点があります。

#### ○線種

- システム変数「PSLTSCALE」が 0 の場合、ペーパー空間で線種が反映されず、破線が実線となる場合があります。
- 破線の書き出し位置が AutoCAD と異なる場合があります。
- DOT 線種でパターン長が円周より長い場合の円は、ドットの個数が AutoCAD と一致



しません。

#### ○マルチテキスト

- ・ 縦書き時の折り返し位置や行開始位置がずれる場合があります。
- ・ 縦書き時のアンダーライン、オーバーラインは未対応です。
- ・ ダブ、段落機能には未対応です。
- ・ 縦書き時のフォントの組み合わせによっては、AutoCAD と描画が異なる場合があります。
- ・ 文字種、文字揃えによっては、文字の開始位置や折り返し位置が若干ずれる場合があります。

#### ○引出線と寸法線

- ・ 引出線、寸法線の端点「小黑丸」のサイズは「小空白丸」と同じサイズで出力されます。
- ・ 寸法線のユーザ矢印には未対応です。
- ・ スプラインの引き出し線の場合に、引出線分の曲がり方が逆方向になることがあります。
- ・ 線太さを有する寸法線の各線分要素の丸い端形状が四角形となります。

#### ○スプライン

- ・ 点となるスプラインは未対応です。
- ・ 制御点が極端に少ないスプラインはポリライン描画となります。
- ・ 制御点のフィット許容差は未対応です。

#### ○フルカラー

- ・ テキスト及びマルチテキスト文字列の一部にフルカラーを指定した場合、近似色での描画となります。
- ・ ハッチのグラデーションは単色の塗りつぶしになります。

#### 4.5. AutoCAD 印刷スタイルテーブルファイル(CTB/STB)の未対応項目

本リビジョンでは AutoCAD 印刷スタイルテーブルファイルである CTB/STB ファイルの以下の項目には対応していません。

- ・ グレースケール
- ・ ペン番号、仮想ペン番号
- ・ 適応調節
- ・ 線の端部スタイル
- ・ 線の結合部スタイル
- ・ 塗り潰しスタイル

#### 4.6. SXF エンジン対応データ形式

本リビジョンでは SXF の以下の形式に対応しています。

CAD データ交換標準(SXF) Level2 Ver3 の SFC/P21 形式のファイル。

#### 4.7. SXF エンジン未対応要素

本リリースでは SXF の以下の要素には対応していません。

- CAD データ交換標準(SXF) Level2 Ver3 の付加属性機構にて定義された要素

未対応要素を検知した場合、警告ログを出力し、警告付き終了コードで終了します。

#### 4.8. SXF エンジン仕様補足

- 出力用紙の最大は縦横 5m です。

#### 4.9. Jw\_CAD エンジン対応データ形式

本リリースでは Jw\_CAD の以下の形式に対応しています。

Jw\_cad DOS 版 ~ Jw\_cad for Windows Ver6 で作成された JWW/JWC 形式のファイル。

Jw\_cad for Windows Ver2.3 以前で作成された JWW 形式のファイルには未対応です。

#### 4.10. Jw\_CAD エンジン未対応要素

本リリースでは Jw\_CAD の以下の要素には対応していません。

- ハッチングレイヤ

未対応要素を検知した場合、警告ログは出力せず、正常終了コードで終了します。

#### 4.11. Jw\_CAD エンジン仕様補足

- 出力用紙の最大は縦横 5m です。
- TrueType フォントの埋め込みには対応していません。
- BMP、PNG、JPG、TIF、GIF 以外のイメージファイルの変換には、Susie プラグインが必要です。  
Jw\_CAD エンジンと同じフォルダに配置して下さい。

#### 4.12. 画像エンジン対応画像形式

本リリースでは以下の画像形式に対応しています。

GDI+で読み込み可能な BMP/JPG/TIF/PNG/GIF 形式のファイル。

# 付録 リビジョンアップ履歴

---

## Ver. 1.0 → Ver. 1.1

- ・ [全エンジン共通] クライアントPC用「変換設定編集ツール」付属
- ・ [全エンジン共通] 変換設定ファイル編集がグラフィカルユーザインタフェースで行える様に改善
- ・ [全エンジン共通] 連結変換時のファイル名ソート方法を拡張
- ・ [全エンジン共通] 連結変換時のリストファイル指定で、リストファイルに無いファイルが存在してもエラーとしない設定を追加
- ・ [SXF エンジン] 連結変換時の PDF ファイル容量制限機能を追加
- ・ [SXF エンジン] 特定レイヤのみカラー化に対応
- ・ [SXF エンジン] 塗りハッチとイメージの描画順序変更に対応
- ・ [SXF エンジン] MS ゴシック/明朝系フォントを近似出力するように改善
- ・ [AutoCAD エンジン] XCLIP に対応
- ・ [AutoCAD エンジン] 外部参照ファイルを使用し、「ベクタフォント文字を検索対象」とした際に警告エラーとなり、文字が重複して出力される不具合に対応
- ・ [AutoCAD エンジン] 非常に細かい線種ピッチの場合、変換した PDF を印刷した際に当該要素が印刷されない場合がある不具合に対応
- ・ [AutoCAD エンジン] ソリッド図形の 2 点目と 3 点目が同一点である場合、ソリッドの形状が正しくない不具合に対応
- ・ [AutoCAD エンジン] 極稀にハッチパターンにより島内部までハッチングされる場合がある不具合に対応
- ・ [Jw\_CAD エンジン] 背景色と同じ SXF 線色反転出力に対応
- ・ [Jw\_CAD エンジン] べき乗記号(^)を含んだ文字列の一部が変換されない不具合に対応

## Ver. 1.1 → Ver. 1.1.1

- ・ [SXF エンジン] 長尺図面を縮小した際に寸法矢印やシンボルが縮小されない場合がある不具合に対応

## Ver. 1.1.1 → Ver. 1.1.2

- [SXF エンジン] 属性付加機構の画像フィーチャに対応
- [AutoCAD エンジン] ベクタフォントを使用し、先頭が全角スペースで始まる文字位置がずれる場合がある不具合に対応
- [AutoCAD エンジン] MS ゴシック、MS 明朝系以外の縦書きフォントで横書きとなる不具合に対応
- [AutoCAD エンジン] 貼り付けたモノクロイメージの色設定を変更し、透過有りとした場合に変換した PDF が AdobeReader にて開けない不具合に対応
- [AutoCAD エンジン] 一部のハッチングが塗り潰された状態となる不具合に対応
- [SXF エンジン] 縦書きフォントによる縦書き配置文字が正しく配置されない不具合に対応
- [Jw\_CAD エンジン] 用紙サイズを縮小した際にランダム線が途中で切れる場合がある不具合に対応

## Ver. 1.1.2 → Ver. 1.2

- [MS-Office エンジン] Office2007 変換オプションを追加
- [全エンジン共通] ライセンスチェック機能を追加
- [AutoCAD エンジン] MAC バイナリ形式のラスタイメージに対応
- [AutoCAD エンジン] 縦書きフォントを使用した半角文字の向きが正しく変換されない不具合に対応
- [AutoCAD エンジン] 円弧・ポリライン・スプラインを含む要素で構成されるビューポート付きのペーパー空間をレイヤ付きで変換した際、AdobeReader8.0 でページ全体が表示されない不具合に対応
- [AutoCAD エンジン] 用紙境界にかかる回転させたイメージが出力されない場合がある不具合に対応
- [SXF エンジン] 連結変換の際、設定ファイルの「レイヤ使用区分」項目を”非表示レイヤは出力しない(1)”または”非表示レイヤは初期表示しない(2)”とし、「マルチページ時のレイヤ」項目を”使用しない(0)”とした場合に、AdobeReader8.0 でページ全体が表示されない不具合に対応
- [Jw\_CAD エンジン] Jw\_cad for Windows Ver6 形式に対応
- [Jw\_CAD エンジン] すべての文字属性制御及び均等割付文字に対応





# 改訂履歴

---

2007年 11月 30日	Ver1.1.0 リビジョンアップ
2007年 12月 17日	Ver1.1.1 リビジョンアップ
2008年 3月 3日	Ver1.1.2 リビジョンアップ
2008年 5月 15日	Ver1.2.0 リビジョンアップ
2008年 9月 16日	Ver1.3.0 リビジョンアップ



[www.microarts.jp](http://www.microarts.jp)

## **CALS-PDFserver Ver1.3 リリースノート**

---

発行 2008年9月

**株式会社 マイクロアーツ**

〒965-0872 福島県会津若松市東栄町1-14